

年頭のごあいさつ



八雲町長

岩村 克詔

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、令和4年の輝かしい新春を健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、多くの皆さまの温かいご支持を得て、三期目の町政のかじ取りを担わせていただくこととなりました。皆さまから寄せられた期待と信頼に応えるべく、誠心誠意、町政執行に努めてまいります。

さて、新型コロナウイルス変異株で感染力の強い「デルタ株」の感染拡大により、北海道は5月と8月下旬に「緊急事態宣言」の対象地域となり、一昨年に続き不要不急の外出や移動の自粛、飲食店等への休業や営業時間の短縮が要請されるなど、地域経済に

大きな影響を及ぼしたところ
であります。

国民へのワクチン接種が一定程度進んだ9月下旬からは新規感染者数が大幅に減少しておりますが、新たに確認された変異株が世界的に拡大していることから、町民の皆さまには引き続き基本的な感染防止行動の実践をお願いいたします。

私が町長に就任させていただいた平成25年10月から、これまで培った民間経営の経験を活かし、企業誘致等を積極的に進め、若い世代の雇用の場の確保、基幹産業であります一次産業の活性化と財政基盤の強化、子育て支援策など、将来にわたって町民が夢と希望をもつて、安心して暮らせる地域社会と活気あふれるまちづくりを目指してまいりました。

そのような中で、私は、未来を担う人材の育成や地域の特性を踏まえた農業・漁業の

育成を行い、雇用の創出につながる産業の活性化に力を入れて人口減少を最小限に留めたい、少子高齢化の進行を少しでも緩和させたいという思いから、昨年4月に本格稼働いたしました「株式会社青年舎 大関牧場」を核として、

新規就農研修生の受け入れ、短期研修事業等、酪農畜産のみならず、幅広く地域農業の振興策を推進するほか、漁業を持続可能な産業として維持するための新たな事業として取り組んでおりますサーモン海面養殖試験事業は、地元での種苗生産と幼魚の確保に向け、陸上での種苗生産事業を進め、「北海道二海サーモン」ブランドの確立と差別化を図り、販路拡大を目指してまいります。

八雲町の健全な財政を支えている大きな要因となつております。ふるさと納税は、コロナ禍で八雲町をPRする機会がほとんどなかったにもかかわらず、令和2年度は19億3千万円を超える寄附を道内外からいただき、町の財政安定化に寄与している状況であります。今年度は、町内事業者の努力により、魅力的な返礼品確保の効果もあつて、昨年度を大きく上回る見込みと

なっており、今後も新たな返礼品開発を企業と連携して進めてまいりたいと考えております。

平成30年度より検討を進めてきました役場庁舎等移転整備計画につきましては、国立病院機構八雲病院撤退後の跡地および道立八雲養護学校の空き校舎を活用して整備したいと考えており、将来的な人口減少を見据え、適切な住民サービスの維持・向上を図るため、役場組織全体の機構の見直しを念頭に置きながら、庁舎移転・集約を検討してまいります。

向こう4年間の町政を考えますと、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済の回復や人口減少、少子高齢化対策など、まさに多事多難な環境の中での運営となることを覚悟しなければなりません。現状に甘んじることなく、常に挑戦し続ける気持ちをもつて、持続可能な八雲町、明るく未来ある八雲町を築きあげてまいります。

今後とも町民皆さまの幸せと八雲町の限らない発展のため、職員共々全力を尽くしてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますととも

に、本年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた1年となりますよう心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

障害のある方々の
就労を叶えます

実績多し!!

仕事
決まったよ!

今すぐお電話を!

138-83-8018
080-1896-1077

jobsp.hirano@gmail.com

障害者手帳、障害者基礎年金の証明書
自立支援医療受給者証をお持ちでない
方もお気軽にご相談ください。

障害者就労移行支援事業所
函館市深堀町1-7
市内で訓練してます

ジョブシード 検査